

PTA活動紹介		高P連受付番号	4	
PTA(学校)名	愛知県立春日井東高等学校		部門No.	1
活動テーマ	文化祭に笑顔を生む「キッチンカー文化」の確立 ー春日井東高PTCCAをめざしてー			
キーワード	生徒参加型	地域連携	継続できる仕組みづくり	
開催日・場所・時間	令和5・6・7年度 文化祭(けやき祭) 本校敷地内キッチンカー設置エリア 10:00~14:00			
参加者	生徒348名(全校生徒)、保護者・地域の方約100名			
趣旨	コロナ明けの文化祭で安全・安心の飲食提供を再開し、“生徒が主役”の体験を創出することを目的とする。生徒アンケートを起点に、PTAと地域・卒業生が協働し、役員が代わっても継続できる持続可能な文化祭の新たな伝統をつくる。			
活動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでメニュー選定(27台応募→5台選抜) ・卒業生キッチンカーとの連携(地元企業も参加) ・混雑・品質・返金問題を改善し、3年目で“仕組み化”に成功 ・PTA負担を減らし、楽しんで取り組める体制を確立 			
主体委員会名 ・講師名等	主体委員会名：PTA執行部 協力：本校教職員/生徒会/卒業生キッチンカーオーナー			

【準備】
 令和5年度、コロナ明けの文化祭に向け、「久しぶりに飲食を復活させたい」という保護者の声から計画が始まりました。衛生面や保健所申請の負担を考慮し、安全性の高いキッチンカー方式を採用。敷地測量・動線確認を全てPTAで行い、当初の3台案から5台設置を実現しました。さらに生徒が現金を持ち歩かずに済むよう、事前チケット制を独自に整備。役員による電子チラシ(メニュー表)作成により、生徒・保護者へ事前情報を分かりやすく提供し、文化祭のワクワク感を高める広報も積極的に行いました。

【当日の流れ】
 ●1日目(R5) 生徒の喜ぶ様子を多く見ることができましたが、①クレープ店がワンオペによる長蛇の列 ②別行事に間に合わず購入を断念した生徒 ③チケット未使用の返金不可 ④商品が想像より“寂しい”との声(特にチュロスのサイズ)等、いくつもの課題が明確になりました。
 ●2日目(R6) 課題を元に、PTAは改善を徹底。①生徒アンケートで「食べたい物」を調査 ②地域の情報サイト「ジモティー」に募集掲載→27台応募→5台選抜 ③全店 ツーオペ以上で混雑対策 ④事前に写真・商材を確認し品質を保证 ⑤ロングポテは提供能力を計算し160食体制に ⑥チケット未使用時の返金ルールを明確化。役員が作成した電子チラシのクオリティも向上。色分け・店別紹介・QRコード対応など、見やすく楽しい広報を実施しました。

その結果、売上は前年同様でも提供食数は約30%増。より多くの生徒へ行き渡る文化祭へ成長しました。
 ●3日目(R7) 最終年は、役員が代わっても続く「仕組みづくり」に挑戦。卒業生キッチンカーのオーナーが賛同し、生徒アンケートとPTAの希望を伝えると、オーナーが地元企業に声をかけ、5台をコーディネートする方式に。PTAの役割は、(1)電子チラシ作成(2)チケット準備・販売(3)当日の運営に明確化され、負担は大きく軽減。電子チラシは年々洗練され、生徒が事前に「どれにしよう?」と楽しめる広報として定着。また、電子チラシを見た保護者の来場も激増。当日は大きな混乱もなく、「1・2日目の積み重ねが形になった」と言える完成度に。来年度役員への引継ぎとして、オーナーとの顔合わせも完了し、今後も“望めば続く”持続可能な文化祭の仕組みが整いました。

【総括】
 3年間の取組で最大の成果は、“行事のたびに一から苦労しないPTA体制”が完成したこと。「生徒アンケート→事業者コーディネート→電子チラシ広報→PTA運営」という流れが確立し、PTCCA(保護者・先生・地域・生徒)のつながりが自然に広がることで、生徒の笑顔・保護者の満足・地域の協力がそろうた、春日井東らしい文化祭となりました。

